

# 国語科学習指導案

神石高原町立油木小学校

指導者 住原 紀恵

- 1 日時・場所 平成24年 10月10日(水) 5校時 1年生教室
- 2 学 年 第1学年 12名
- 3 単 元 名 じどう車ずかんをつくろう  
教材名 「じどう車くらべ」
- 4 単元について (㊸分析力 ㊹論理構築力 ㊺個別支援)

## 〈単元観〉

本単元は、小学校学習指導要領の第1学年及び第2学年の内容「B書くこと」の指導事項(1)ウ「語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」、「C読むこと」の指導事項(1)イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」を受けて構成している。

本教材は、この時期の児童の多くが興味・関心を示す自動車を取り上げた説明文である。冒頭に「話題提示の文」と「問い(しごととつくり)」の文があり、「中」の部分で3種類の自動車を挙げて答えが書かれた構成になっている。多くの役割をもつ自動車が、それぞれのその「仕事(はたらき)」のために、その「つくり(形態)」になっているのだという書き方は、「物」を説明する際の基本となる書き方である。本単元の前半では、これらの「しごと」と「つくり」の2観点に着目して読み取り、後半では、それまでに学習したことを使って、はしご車と自分の好きな自動車について、絵と文章で説明する図鑑作りの学習を行う。本教材を読み取っていく際に、㊸「しごと」と「つくり」の2観点に着目して読むという明確なねらいがあるため、児童が事柄の順序と関係を考えながら読み進めるのに適している。さらに、㊹「じどう車くらべ」で学習した論の組み立てや表現方法を用いて図鑑を作らせることで、論理構築力の育成につながる教材であると考える。

## 〈児童観〉

児童はこれまでに、「なぞなぞあそび」で「問い」という形を、「くちばし」で「問い+答え」の繰り返しで構成された文章を、さらに、「みつけた」で「問い+答え+答え+答え」で構成された文章を読んできている。

説明文「くちばし」の学習では、㊸写真と文を対応させたり、文末表現に着目したりすることで「問い」と「答え」の文を見つけることができた。㊹その後のクイズづくりでは、学習した文型を生かして、どの児童も「問い」と「答え」の文を書くことができた。また、3つの鳥について、「どうやってえさを食べるのか」という課題をもって一人読みをする中で、「くちばしの使い方」や「えさ」が㊸どの鳥の説明でも繰り返し書かれているという構成に気づくことができた。しかし、おおまかに鳥の話だということは理解できても、㊹文と文のつながりをとらえられずに、くちばしとえさの関係を一人では読むことができない児童もいた。写真と文を結びつけて考えられなかったり、接続語「そして」の役割を十分に理解できていなかったりしたことが原因と考えられる。

## 〈指導観〉

指導にあたっては、単元を貫く言語活動として自動車図鑑をつくることを設定し、児童が目的意識をもって学習に取り組めるようにする。これにより、説明文がどのような構成になっているのか、児童が必要感をもって読み進めていけると考える。

学習の進め方としては、まず、文末表現に着目させながら2つの「問い」を見つけさせる。それぞれの「問い」をしっかりとおさえることで、筆者が何について説明しようとしているのかを明確にする。「問い」の文のすぐ後に「答え」の文が書かれていないので、「問い」と「答え」の関係に戸惑う児童もいると考えられる。そこで、㊸「しごと」と「つくり」という言葉をキーワードにして「問い」に対する「答え」の文を見つけさせる。また、接続語「そのために」という言葉に着目させ、なぜここに書いてあるのかを考えさせる。そして、㊹㊸仕事とつくりには関係があること、この言葉が仕事とつくりをつなぐ役割を果たしていることを理解させる。第2次では、毎時間のまとめの場面で、その時間に読み取った自動車について、図鑑にまとめていく活動を行う。読み取ったことを深め、3次の図鑑作りの活動につながるようにしていきたい。児童には、説明的文章を読んで、絵や文章から情報を読み取ることの楽しさを経験させていきたい。そして、説明的文章を読むことに慣れ、内容を理解する力をつけていきたい。

第3次では、まず、自分の好きな自動車について調べ、「しごと」と「つくり」を見つける活動を行う。前時までには、バスや乗用車、トラック、クレーン車の「しごと」と「つくり」について、それぞれ学習してきているため、**既習事項を生かし、さらに、手がかりとなる言葉「そのために」を使い、「しごと」と「つくり」の順序性を考えながら書く活動をさせていく。**それによって、児童に事柄の順序に沿って文章を書く力をつけていきたい。

5 単元の目標

- 自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。  
【国語への関心・意欲・態度】
- 事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え「しごと」と「つくり」を説明する文章を書くことができる。  
【書くこと ウ】
- 三種類の自動車について、「しごと」と「つくり」の関係を考えながら、内容の大体を読むことができる。  
【読むこと イ】
- 片仮名で、長音、拗音、促音を表記することができる。  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。	・教科書のモデル文にならない、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。	・「しごと」と「つくり」が書かれていることを理解している。	・片仮名で長音・拗音・促音を正しく読んだり書いたりしている。

7 指導計画（全10時間 本時5/10時）

次	学習内容	評 価					評価方法
		関意	書く	読む	言語	評価規準	
1	・全文を音読し、「じどう車ずかん」をつくるという学習の見通しをもつ。(1)	○				・自動車にはいろいろな種類があることに興味をもち、どのような図鑑を作るかを考えようとしている。	発表
	・段落分けをし、問いの文を見つける。(1)			○		・文末表現を手がかりにしなが、問いの文を見つけている。	発表 ワークシート
2	・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を確かめる。(1)			○		・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。	ワークシート
	・トラックの「しごと」と「つくり」を確かめる。(1)			○		・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取っている。	ワークシート
	・クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめる。(1)(本時)			○		・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。	ワークシート

3	・はしご車の「しごと」と「つくり」をみんなで考え、文章に書く。(1)	○	・はしご車の説明を、「しごと」と「つくり」に分けて書いている。	ワークシート
	・自分の決めた自動車の「しごと」と「つくり」を調べる。(1)	○	・自分の調べたい自動車について意欲的に調べている。	発表ワークシート
	・自分の選んだ乗り物の説明文を書く。(2)	○	・調べた自動車について「しごと」と「つくり」に分けて書いている。 ・片仮名で長音・拗音・促音を正しく読んだり書いたりしている。	ワークシート
	・「じどう車ずかん」を読み合い、感想を交流する。(1)	○	・友達の「じどう車ずかん」に興味をもって読んだり、感想を交流したりしている。	発表ワークシート

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

### (2) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法 (言語活動充実の視点)
つかむ 5分	1. 学習課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">じどう車ずかんのクレーン車のページをつくろう。</div>		
さぐる 10分	○音読をする。(P.25) 2. クレーン車の絵を見て気がついたことを発表する。 <b>T: 先生の描いたクレーン車のページです。</b> ・腕が細すぎます。 ・足がついていません。 3. クレーン車の絵のどこが違うのか考える。 <b>T: どうしてこの絵ではいけないのでしょうか。</b> ・クレーン車は重い物をつり上げる仕事をしているから、腕はじょうぶにつくってあります。 ・クレーン車にはしっかりした足がついています。 4. クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。	・間違っただクレーン車の絵を提示し、教科書に載っていたクレーン車とのちがいに気づかせる。  ・根拠を本文のことばとつなげて考えさせる。 ・児童の意見に合わせて正しい絵も提示し、絵と本文をつなげて考えさせる。 ・間違っただクレーン車の絵では、クレーン車の仕事ができないことをおさえる。	間違っただクレーン車を提示することで、本文のことばに着目させながら、その「しごと」と「つくり」を読み取らせることができます。

ねりあう  
20分

**T: クレーン車の「しごと」と「つくり」が分かるところに線を引きましょう。**

**T: どうしてクレーン車はこのようなつくりになっているのでしょうか。**

- ・クレーン車は重い物をつり上げる仕事だから。
- ・重い物をもったときに、クレーン車が倒れないようにするため。

**T: バスや乗用車、トラックの文章と比べて気づくことはありませんか。**

- ・全部「しごと」「つくり」の順番が同じです。

5. まとめる。

**T: かいてある言葉を大切にしながら、クレーン車のページをつくりましょう。**

クレーン車は **おもいものをつり上げる** しごとをしています。

そのために、 **じょうぶなうで** が、のびたりうごいたりするように、つくってあります。車たいがかたむかないように、 **し** **っかりしたあし** が、ついています。

- ・どうしてそのような「つくり」になっているのかを考えさせ、「しごと」と関係があることを確かめる。
- ・「つり上げる」「じょうぶなうで」などの意味を、絵と対応させたり動作化させたりして確かめる。

- ・「そのために」という言葉が「しごと」と「つくり」をつなぐ役目をしていることを押さえる。
- ・今までの文章の書き方と比べさせることで、同じ構成で書かれていることに気づかせる。

- ・図鑑ワークシートにクレーン車の絵と説明をかかせる。
- ・クレーン車の車体だけ描いてあるワークシートに、腕と足を描き足させる。

図鑑ワークシートをつくるという目的意識をもたせることで、よりの確な表現をしようという意欲を高めます。

クレーン車の「しごと」と「つくり」について、本文の言葉に即して大切な言葉をとらえ、的確に表現している。(ワークシート)

まとめる  
10分